

アのルネ・ペレイラ・モラト氏、およびエジプトのアブデル・サラム・エルバナ氏が選出された。さらにラポターとして副議長兼任のポーランドのジョージ・ホルツァー氏が選出された。なお委員国は26で、ほかに多くのオブザーバー国が出席した。日本からは河野所長のほか日本の国連代表部の二階一等書記官と北川専門官が出席した。

前半の人口委員会プロパーで話題となったものは『1991年世界人口モニタリング報告』である。この報告書では人口構造変化を特集しており、特に注目すべきは、ただでさえ貧しい途上国で生活手段のない老人が増えたらどうなるかという難問題を論じていることである。途上国の人口問題はますます複雑で深刻になりつつあるといっ

てよい。第2週目は人口委員会がそのまま1994年の国連人口会議の準備委員会になった。ただし国連加盟国全部が同等の資格で出席できるオープン・エンド方式となっている。準備委員会には議長にケニアの国連常駐大使、副議長にはポーランド、トルコ、コスタリカの代表、およびラポターとしてバングラデシュの代表が副議長兼任で就任した。

会議の名称として「人口と開発に関する1994年国際会議」という長いものになった。そこでメイン・テーマは「人口と持続可能な経済成長と開発」となった。また、このメイン・テーマのもと次の六つのサブテーマが選定された。(1)人口増加、人口高齢化を含む人口構造変化および地域差の問題と経済社会開発との関連性、(2)途上国のための人口活動資金をいかに有効に調達するかに焦点を置く人口政策、(3)人口・開発・環境の関連性、(4)国内、国際人口移動の要因と結果、(5)女性の地位の向上、役割の拡大と人口問題、(6)家族計画、ヘルス、健全な家庭生活。以上に相応した六つの専門会議が92～93年に開かれ、その成果は次の準備委員会にて報告される。(河野綱果記)

## 中国人口調査出張報告

若林敬子は「中国少数民族の婚姻と人口動態に関する社会学的研究」の調査研究で、90年12月23日～91年2月14日訪中した。今回は中国社会科学院による招聘、北京経済学院人口経済研究所の張天路らとの共同研究、国家計画生育委員会の協力という形で、少数民族人口論のみでなく地域末端の計画出産・人口問題の実態調査を行うことに主目的があった。

今回のルートはまず北京にて中間報告をかねた研究交流を行って地方に入る足場をかためた後、海南省——広州市経由——広西壮族自治区——貴州省——浙江省——上海市という順路で移動したが、海南・広西・貴州の三地区が主な調査地であった。

海南省は経済特区の最先端にあり、89年春には盲流人口がおしよせ、新たな人口問題に直面している地である。2年前に省（一級行政区）に昇格したものの社会科学院の設立もまだでこれからという新天地であるが、そうした中で黎族（一部に若干の苗族も）はどのように変貌をとげているか、海口→昌江→三亜→通什とまわり、経済特区の実態や華僑送地の地の原点をも訪れた。特に、張天路の調査地である昌江県王下郷と、1942年日本海軍の調査として尾高邦雄・岡田謙らによる優れた調査報告書がかかれた昌江県重合盆地の黎族の村に入ることがねらいであった。

飛行機の乗りつき地の広州では中山大と計画生育委との交流を暖め、広西壮族自治区南寧に移動した。ここでは龍勝各族自治県にて瑶・侗・壮族の村・家庭を訪れ、民族の差異がどのように婚姻や人口動態に影響しているかをみ、ついで金秀瑶族自治県を訪れた。この六巷郷を1935年費孝通・王同恵が調査に入り、王同恵が悲惨な死をとげた地である。柳州から貴陽へ列車にて移動。広大な中国の中で最も貧しい省である貴州で、人口・生態（水土流失）・貧困・少数民族の相互連関問題を考えることとなった。凱里周辺の黔東南についてはすでに研究が一部なされているが、今回は、90年秋に外国人に開放されたばかりの黔西南布依族苗族自治県の興義に入ることでできたことは貴重であった。興義市郊外の1951年費孝通が調査した布依族の村・安章郷納具県はかなり漢化がすすんでいた。

東北の遼寧省の満族・錫伯族と同様に貴州省では土家族と仡佬族の人口が戸籍変更によって膨大な拡大をして

いた。

招興市岷県は馬寅初のふるさとであり墓があるが、中国人口政策論史をふりかえるために2泊3日で杭州・招興市を訪れた。おりしも90年秋に馬寅初中学校馬寅初記念館が新設されており、収穫大であった。上海では老朋友との研究交流、および87・89年と全く同じ地区を訪れ、計画出産の地域末端の実態、包護組の変貌をフォローした。

夏の東北3省の調査とあわせ、詳細は別途早急に発表予定である。以下は訪問し交流した調査民族郷や研究機関・その代表者名であるが、記してお世話になった方々へのお礼を申し上げたい。

i) 北京市在の研究諸機関

- ・中国社会科学院人口研究所……田雪原・熊郁・(王鑑)
- ・中国社会科学院社会学研究所……陸学芸・王慶基・張萍・李国慶
- ・中国社会科学院外事局……李微・孫新・楊永超
- ・北京经济学院人口經濟研究所……張天路
- ・国家統計局人口統計司……孟慶普・徐鋼・劉金種
- ・国家計画生育委員会……李宏規・杜祥金・丁小鳴
- ・中国人口情報研究中心……肖自力・李艷秋
- ・北京大学社会学系・人口研究所……袁方・潘乃谷・蔡文媚・周星・包智明・時憲民
- ・中国人口報社……王連城
- ・中国老齡科学研究中心……陶立群
- ・中央民族学院民族研究所……王輔仁・陳長平・(王橋)

ii) 海南省

- ・海南省人民政府外事弁公室……唐才吉
- ・海南省政府社会經濟發展研究中心・海南特区社会發展研究所……周文彰・詹長智
- ・海南省人口局……梁鈞・王鋒
- ・海南省民族宗教事務委員会……高大賢
- ・昌江県黎族自治县外事弁公室・民族事務委員会・七差郷重合村(黎族村)・霸王苗村(黎族・苗族村)……張余罷・陳文清
- ・通什市人民政府・通什民族博物館……劉栄輝・楊育玲・王錫盛

iii) 広東省

- ・広東省社会科学院……黎瑞祥・李小林・(易雪顔)
- ・広東省計画生育委員会……孫沐寒・鄭木勝
- ・中山大学社会学系……何肇發・李若建
- ・中山大学人口研究所……朱雲成

iv) 広西壮族自治区

- ・広西社会科学院……詹宏松・梁健生・(梁近光)
- ・広西壮族自治区人口研究所……底書貴・央吉
- ・広西社会科学院經濟研究所人口經濟研究室……肖永孜・陳洁蓮
- ・広西壮族自治区民族事務委員会……莫文貴
- ・広西壮族自治区人口普查<sup>センサス</sup>弁公室……李成訓
- ・広西壮族自治区計画生育委員会……宋廷猷・覃光荣
- ・龍勝各族自治县計画生育委員会・和平郷金江村金竹屯(壮族村)・黄落寨(紅瑶族村)……奉孝剛・陳鄭權
- ・金秀瑶族自治县計画生育委員会・民族事務委員会・十八家村(瑶族村)(六巷郷)……呂治華・趙文閣・程趙明

v) 貴州省

- ・貴州省社会科学院……肖沉岡・吳申玲・謝坪・(陳曉華)

- 貴州省社会科学院社会学研究所等……王瑞迎・李子和・韋啓光・蔣德学・謝一・龍平文・歐多恆・趙崇南・石朝江・朱文東・龔曉寬
- 貴州省計画生育委員会……王惠業・文炳榮
- 貴州大学人口研究中心……呂左・蒙曦・李明・陳一波
- 貴州財經学院人口研究所……楊宗貴・肖家俊・吳安華・柯震豪・江北
- 貴州省鎮寧県安庄郷石頭寨（布依族村）
- 黔东南苗族侗族自治州人民政府外事弁公室……潘心雄
- 黔东南苗族侗族自治州計画生育委員会……李澤鳴・（吳維英）・吳展煥・郭業義・楊正英・陳学英
- 黔东南苗族侗族自治州民族事務委員会民族研究所……雷秀武・王勝先
- 凱里市郊外青曼郷曼洞村・翁項郷青杜村（苗族村）
- 黔西南布依族苗族自治州人民政府……陳恩錫
- 黔西南布依族苗族自治州計画生育委員会……查世亮・劉国賢・黃群芬・羅困信
- 黔西南布依族苗族自治州民族事務委員会……韋安礼
- 興義市安章郷納具県布依族村

vi) 浙江省

- 浙江省社会科学院……王保民・韓松林
- 杭州大学人口研究所……駱克任・劉長茂
- 浙江省嵊県人民政府・教育局……黃先林・裘文希
- 仙岩郷下王金村（馬寅初の墓）
- 馬寅初中学校・馬寅初記念館……馬玉淳

vii) 上海市

- 上海社会科学院……周益政・邵力群・陸一心
- 上海社会科学院人口研究所……張開敏・沈安安・張康清
- 上海社会科学院社会学研究所……丁水木
- 上海人口学会……王建民・王浣尘・顧杏元・楊舒・陳先淮
- 上海計画生育委員会……劉永良・楊如阜
- 上海人口情報中心……鄭依柳・何個風・陳杰
- 上海市計画生育協會……蔣蘊芬
- 復旦大学人口研究所……張戎舟・吳申元・鄭桂珍・桂世祚・潘紀一
- 華東師範大学人口研究所……桂世勳・朱宝樹・王大緯
- 上海大学社会学系……袁緝輝・（王愛珠）・（毛麗英）
- 上海市老齡問題委員会……李德鴻・吳林橋・卡月娥・朱即明・楊荷娟
- 上海市老年学会……張志昂・李敏之・洪旦平・胡岩壽
- 上海市楊浦区四平路街道
- 上海市戶湾区麗園街道
- 閘北区開封封道

（若林敬子記）